

令和7年度(第8回)生化学分野教科担当教員会議

日時: 令和8年3月28日(土) 11:51~12:42

場所: 関西大学 千里山キャンパス 第2学舎3号館E棟 3階 E301

担当:

- ・ 委員長校 京都薬科大学
- ・ 副委員長校 北海道大学
- ・ 参与校 北里大学

出席者: 71名(代理出席者4名を含む)

議事

1. 開会の辞

中山祐治委員長(京都薬科大学)より、開会の挨拶が行われた。

2. 議長の選出

会則に基づき、中山委員長が議長を務めることが提案され、賛成多数で了承された。

3. 報告:令和7年度の活動について

【令和7年度(第11回)薬学教育教科担当教員中央会議 参加報告】

資料4に基づき、令和7年度に開催された第11回 薬学教育教科担当教員中央会議への参加報告が行われた。18の教科担当会議が存在し、そのうち12会議は対面開催、Webのみの開催は3会議であった。また、対面とWebのハイブリッド開催が3会議あった。薬学会会期中の開催は6会議であり、その他、関連学会に合わせて開催された会議もあった。活動内容としては、コアカリキュラム関連(8会議)、国家試験関連(5会議)、講演会(11会議)、アンケート実施および説明(6会議)、ワークショップ(3会議)など多岐にわたっていた。さらに、質疑応答の内容についても中山委員長より説明があった。

【アンケート結果の説明】

資料5に基づき、2025年10~11月に実施したアンケート結果について中山委員長より説明され、複数の大学から補足説明が行われた。

(1) 新コアカリキュラム2年目の状況

科目間連携の強化、開催時期の変更、講義内容の自由度向上、薬剤師の資質・能力育成に向けた臨床指向性の強化、科目統合による科目数削減と学生負担軽減など、多くの改善点が報告された。一方で、他領域との時系列調整の困難さ、授業時間数減少による内容制限、科目連携の実施方法が統一されていない点などの課題も明らかとなった。

(2) 講義内容の見直しについて

講義で扱うべき最新技術が増加する一方、講義時間は限られているため、内容の取舍選択が必要であるとの意見が多く示された。他科目で扱われている内容を省略するという回答もあったが、大学間で意見が分かれる点もあり、今後も継続的な議論が必要であることが確認された。

(3) 講義の実施状況

使用教科書および講義形態について説明があり、対面講義を基本としつつ、復習支援のためのオンデマンド配信が行われていることが報告された。講義における工夫としては、小テストや演習による形成的評価とフィードバックを通じた学習循環の構築が多く挙げられた。また、代謝経路の統合的理解、化学構造・分子構造のイメージ化と疾患との関連付けを重視する取り組みが多く示された。学生にとっては、代謝の俯瞰的理解が最も難解であるとの回答が多数であった。

(4) 今後の活動

開催形態は Web 会議の希望が最も多く、次いで薬学会会期中での対面開催が多かった。希望する活動内容としては、アンケート実施と情報共有が中心であり、国家試験問題の検討がその約半数を占めていた。

4. 令和 8 年度 委員長校・副委員長校・参与校の選出について

資料 6 および 7 に基づき、令和 8 年度の委員長校および副委員長校は、それぞれ令和 7 年度の副委員長校および参与校である北海道大学（木原 章雄 教授）および北里大学（奥脇 暢 教授）が務めることが賛成多数で了承された。

また、令和 8 年度の参与校として大阪医科薬科大学（藤森 功 教授）に依頼したい旨が提案され、賛成多数で了承された。

5. 令和 8 年度薬学教育協議会生化学分野教科担当教員会議の開催について

令和 7 年度副委員長の木原先生より、次回の本教員会議について、現時点では薬学会会期中に対面で開催する方向で検討したい旨の説明があった。開催方法および詳細については、今後調整の上決定することとなった。

6. その他

問題提起、意見、質問等が募られたが、特に発言はなかった。

7. 閉会の辞

中山委員長より閉会が宣言された。

以上、議事の経過および結果を明確にするため、本議事録を作成する。

令和 8 年 3 月 3 0 日

令和 7 年度 生化学分野教科担当教員会議
議長（委員長）京都薬科大学 中山 祐治

令和7年度（第8回）生化学分野教科担当教員会議 出席者名簿

大学名	氏名
北海道大学	木原 章雄
北海道医療大学	中川 宏治
北海道科学大学	平山 早苗
青森大学	水野 憲一
岩手医科大学	關谷 瑞樹
東北医科薬科大学	稲森 啓一郎
奥羽大学	古泉 博之
高崎健康福祉大学	森 哲哉
城西大学	畑中 朋美
城西大学	谷川 尚
日本薬科大学	荻野 泰史
千葉大学	伊藤 素行
国際医療福祉大学成田	豊留 孝仁
東邦大学	畠山 大
東京理科大学	内海 文彰
千葉科学大学	佐々木 啓子
千葉科学大学（代理）	岡本 能弘
城西国際大学	神谷 貞浩
順天堂大学	名黒 功
帝京平成大学	大西 敦
北里大学	奥脇 暢
慶應義塾大学	有田 誠
昭和医科大学	板部 洋之
星薬科大学	東 伸昭
星薬科大学	築地 信
東京薬科大学	佐藤 隆
東京薬科大学	高木 教夫
明治薬科大学	紺谷 圈二
明治薬科大学	長浜 正巳
武蔵野大学	大畑 慎也
帝京大学	原田 史子
湘南医療大学	石田 洋一
新潟薬科大学	宮本 昌彦
富山大学（代理）	田中 亜紀
北陸大学	大畠 京子
岐阜薬科大学	五十里 彰

大学名	氏名
名古屋市立大学	服部 光治
名城大学	山田 修平
名城大学	村田 富保
金城学院大学	田平 知子
愛知学院大学	武内 智春
鈴鹿医療科学大学	佐藤 英介
和歌山県立医科大学	長田 茂宏
立命館大学	梅原 崇史
立命館大学	市村 敦彦
京都薬科大学	中山 祐治
大阪大学	水口 裕之
大阪医科薬科大学	藤森 功
近畿大学（代理）	船上 仁範
摂南大学	北谷 和之
大阪大谷大学	西中 徹
神戸薬科大学	灘中 里美
兵庫医科大学	三浦 大作
武庫川女子大学	野坂 和人
姫路獨協大学（代理）	田畑 裕幸
岡山大学	古田 和幸
就実大学	守谷 智恵
安田女子大学	久保 貴紀
福山大学	上敷 領 淳
広島国際大学	山口 雅史
徳島文理大学	葛原 隆
徳島文理大学香川	桐山 賀充
松山大学	中西 雅之
松山大学	日野 真美
山陽小野田市立 山口東京理科大学	嶋本 顕
第一薬科大学	廣村 信
福岡大学	本田 伸一郎
国際医療福祉大学 福岡	塚本 宏樹
熊本大学	杉本 幸彦
崇城大学	大栗 誉敏
九州医療科学大学	吉田 裕樹

生化学分野教科担当教員会議 委員長校・副委員長校・参与校

回	年度	委員長校	副委員長校	参与校
1回	2017 (H29)	昭和薬科大学	東京薬科大学	長崎大学
2回	2018 (H30)	東京薬科大学	長崎大学	北海道医療大学
3回	2020 (R2)	長崎大学	北海道医療大学	明治薬科大学
4回	2021 (R3)	北海道医療大学	明治薬科大学	名古屋市立大学
5回	2022 (R4)	明治薬科大学	名古屋市立大学	星薬科大学
6回	2023 (R5)	名古屋市立大学	星薬科大学	京都薬科大学
7回	2024 (R6)	星薬科大学	京都薬科大学	北海道大学
8回	2025 (R7)	京都薬科大学	北海道大学	北里大学
9回	2026 (R8)	北海道大学	北里大学	大阪医科薬科大学